

【県内産地の自発休眠覚醒日】

- ・本年（2020年作）の10～2月の気温は、平年より高い状態が続き、各月0.9～2.5℃高くなりました（図1）。ナシは寒さから身を守るため自発休眠に入りますが、本年は気温が高く推移しているため、自発休眠が確実に覚醒する日（自発休眠覚醒日）が過去40年で最も遅くなっています。
- ・県内産地の自発休眠覚醒日は、表1のとおりです。千葉市や、印西市、四街道市では平年より10日程度遅く、市川市や市原市、鎌ヶ谷市、木更津市、鎌ヶ谷市、八千代市では15日程度遅く、一宮町では30日遅くなっています。
- ・開花に必要な低温要求量は足りています。しかし、県南部や沿岸部の暖かい地域の圃場では、3月以降の気温が高いと、自発休眠が確実に覚醒する日がさらに遅くなり、開花がばらつくなどの影響がでる可能性があります。

表1. 県内産地の自発休眠覚醒日

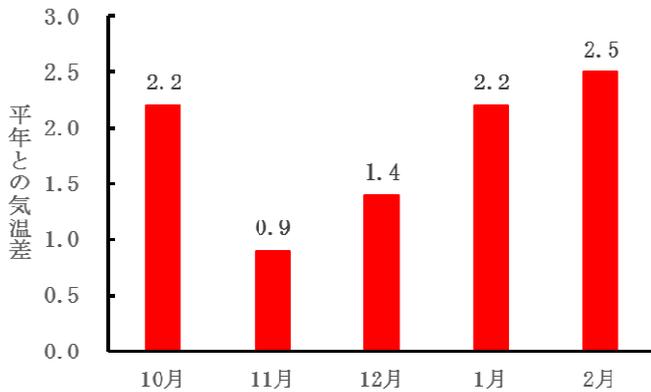


図1. 令和元年10月～令和2年2月の気温
(平年との差、アメダス佐倉)

注) 平年は昭和56～平成22年の30年間の平均

地域	自発休眠覚醒日
千葉市（農林総研）	2月13日
市川市	2月26日
印西市	2月13日
市原市	3月4日
木更津市	2月22日
四街道市	2月13日
鎌ヶ谷市	2月26日
八千代市	2月26日
旭市	3月4日
一宮町及びいすみ市 （沿岸部）	4月6日
館山市（沿岸部）	算出不能

注) 旭市と一宮町、館山市は、3月1日以降は平年値で予測

【県内産地の開花日予測】

- ・表2の左側は、今後の気温が平年値より2.5℃高いと仮定した場合の開花予測です。この予測結果では、開花期は昨年と同程度で、平年より7日程度早くなります。
- ・表2の右側は、今後の気温が平年値で推移した場合の開花予測です。自発休眠覚醒日が非常に遅いため、開花期が平年並～平年より遅延します。
- ・気象庁は、今後1か月は気温が高く推移すると予測しており、平年値より2.5℃程度高くなる可能性もあると考えられます。

表2. 県内産地の開花予測

地域	品種	平年値+2.5℃を用いた予測		平年値を用いた予測	
		開花始	満開日	開花始	満開日
千葉市（農林総研）	幸水	4月5日	4月9日	4月13日	4月18日
市川市	幸水	4月11日	4月15日	4月21日	4月25日
印西市	幸水	4月9日	4月15日	4月17日	4月24日
市原市	幸水	4月13日	4月18日	4月23日	4月27日
木更津市	幸水	4月11日	4月14日	4月19日	4月25日
千葉市（農林総研）	豊水	4月1日	4月7日	4月9日	4月15日
四街道市	豊水	4月3日	4月9日	4月11日	4月18日
鎌ヶ谷市	豊水	4月10日	4月14日	4月19日	4月24日
八千代市	豊水	4月10日	4月14日	4月18日	4月22日
旭市	豊水	4月12日	4月14日	4月23日	4月26日

注) 一宮町や館山市は開花予測の精度が低く、算出できません。

【令和3年産に向けた受粉用花粉の安定確保について】

農林水産省より、輸入花粉については、安定確保できているとの情報発出がされていますが、海外等での病害（火傷病など）発生等による供給リスクもあることから、来シーズンに備えて、自家採取や保存方法の基本を再確認し、令和3年産に向けた受粉用花粉の安定確保に努めて下さい。

【生育情報の問合せ先:千葉県農林総合研究センター 果樹研究室 電話 043-291-9989】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.htm>